

阪神・淡路大震災 20 年行事を執り行いました

2015 年 1 月 16 日（金） 10:30 ～15:30

本校にて阪神・淡路大震災 20 年行事を執り行いました。午前中は、避難訓練と防災を考える地区別ホームルーム、午後は、防災を題材とした様々な公開授業と、防災教育実践研究会において本校の教育の取り組み報告と震災語り継ぎ Song を披露しました。

防災訓練



長時間の避難を想定した非難訓練では北淡幼稚園の園児とともに本校の第2 グラウンドに避難しました。荷物持参、外履きに履き替えての避難となりましたが迅速に避難できていました。



避難訓練のあとは地区別に分かれて防災に関するホームルームを行いました。今必要なモノ・コトを考えました。避難して半日後に必要なモノ・コトについても、ひとりひとりが模造紙にリストアップしました。

防災教育実践研究会



社会研究部の活動報告では、「地元と震災」に焦点を当てて発表しました。私たちが取り組んできた防災活動や、災害に備えて私たち高校生には何ができるのか、阪神・淡路大震災から20年経った地元（富島地区）の現状など、震災から学んだ教訓を多くの人に伝えました。



夏に行われた「高校生防災ジュニアリーダー育成合宿」に参加した本校生徒3名が、「Bosai to the world～淡路島から世界に防災を～」と題して発表しました。「日本の防災・減災文化を世界に広げる」ことを目的とした内容を、すべて英語でプレゼンテーションをしました。



また、震災から20年の年に作成した防災語り継ぎ Song「ここに」が披露されました。生徒たちの震災に対する思いや、富島の町歩きして感じたことを兄妹ユニット Seira さんが曲にしてくれました。震災を語り継いでいく前向きな思いが綴られおり、これから先も淡路高校の防災語り継ぎ Song として、大切に後輩たちに伝えていく曲です。最後に生徒会代表がお礼の挨拶を行いました。

公開授業

公開授業では、各系列の特徴を活かした特色ある防災教育が展開されました。各系列の授業の様子をご紹介します。



調理系列： 災害時における省エネルギーの非常食作り。



花と緑と海のめぐみ系列： 土のう作り・炊き出し実習。



地域福祉系列： 災害と障害者の暮らしについて・災害時の緊急対応について。





まなび探究系列： 日本と海外における防災意識の比較・数学を使った災害時の問題解決



健康スポーツ系列： 担架搬送・心肺蘇・バケツリレー